

# お寺<sup>de</sup> プラネタリウム

史跡小部遺跡がテーマのイベント限定オリジナルプラネタリウム  
ウサツヒコ・ウサツヒメの観た星空

2023.  
**12.23**

会場 **教覚寺**

宇佐市森山 216

## 投映時間

- ① 10:15 ~
- ② 11:15 ~
- ③ 13:00 ~
- ④ 14:00 ~
- ⑤ 15:00 ~

定員：各回 30 名

※内容は 5 回とも同じです  
各回の投映時間は約 15 分です

## 入場無料

事前申込が必要です

(受付開始:12月1日から)

※先着順  
事前申込で定員に満た  
ない場合、  
当日受付を行います



申込フォーム

主催・お問合せ先

宇佐市教育委員会 社会教育課  
電話 0978-27-8199



SK  
I  
T  
B  
E  
E



エアドーム式のプラネタリウム

# ウサツヒコ・ウサツヒメの観た星空

我が国最古の歴史書である古事記と日本書紀には、ウサツヒコとウサツヒメという人物が登場し、市内に残る前方後円墳から宇佐の地を治めた豪族の存在が伺えます。

近年、豪族が生前に暮らした居館と考えられる<sup>こべ</sup>小部遺跡が国指定文化財(史跡)となりました。詳しく調べていくと、星や太陽などの天体の運行と小部遺跡の間には深い関係があることが分かってきました。

今回、小部遺跡からみた<sup>こべ</sup>古墳時代の星空を再現しました。はるか昔の宇佐の人々が見た星空を、ぜひご覧ください。

## <sup>こべ</sup>小部遺跡

所在地：宇佐市荒木

古墳時代前期(3世紀末)の集落遺跡です。全長200m以上の環濠<sup>かんごう</sup>の内側に、南北50m×東西35mの柵で囲まれた大型建物が発見され、古墳時代に宇佐を治めた豪族の居館ではないかと考えられています。

近畿地方や岡山県などの瀬戸内海沿岸で作られたと思われる土器が多数出土しており、海を通じた交流拠点の一つであったと思われます。

古墳時代の交流や社会構造の変化について知ることのできる遺跡として、国指定史跡になっています。



⑤



⑥

## 小部遺跡と赤塚古墳

小部遺跡と赤塚古墳は同時期の遺跡です。

小部遺跡から冬至の日の出を見た方向に赤塚古墳はあり、2つの遺跡には密接な関係があったことが伺えます。

## 赤塚古墳

所在地：宇佐市高森

九州でも最古級の前方後円墳で、3世紀末に造られました。

古墳からは、<sup>さんかくぶちしんじゅうきょう</sup>三角縁神獣鏡という中国で作られた鏡が5面出土し、近畿地方にあったヤマト政権と深い関係のあった豪族が葬られた墓と考えられています。



①



②



③

## ウサツヒコ・ウサツヒメ

古事記・日本書紀に登場する伝説上の人物です。

初代天皇とされる神武天皇が、日向から大和に向けて旅をする途中で宇佐に立ち寄ったとき、ウサツヒコとウサツヒメという豪族が、一柱騰宮と呼ばれる建物で、神武天皇一行をもてなしたとされています。

写真

- ①3世紀の小部遺跡からみた星空(©Stella Navigator)、
- ②日本書紀(国立国会図書館デジタルアーカイブ)、
- ③小部遺跡の大型建物復元イメージ、
- ④小部遺跡からみた冬至の日の出、
- ⑤赤塚古墳、⑥小部遺跡の大型建物跡



④

